



学習指導要領

- ・生きる力の育成
- ・「主体的・対話的で深い学び」
- ・社会に開かれた教育課程
- ・カリキュラム・マネジメント



世羅町教育プラン

豊かな心をもちたくましく未来を拓く
～しなやかで、品格のある世羅の子ども～

校訓

自主・友愛・創造

- 「自主」自ら進んで行動できる生徒
- 「友愛」世界の一員として何が出来るか考える生徒
- 「創造」豊かな発想で、新たな価値を生み出す生徒

広島版「学びの変革」 アクション・プラン

広島で学んだことに誇りを持ち、胸を張って「広島」、「日本」を語り、高い志のもと、世界の人々と協働して新たな価値(イノベーション)を生み出すことのできる人材の育成

学校教育目標

『自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成』

育成を目指す資質・能力 「主体性」「協働性」「創造性」

変化が激しく先行き不透明な時代をしなやかにたくましく生きるため、自ら考え、判断、行動し、他者との協働を通して新たな価値を創造できる生徒を育成します。

生きるって
なに

人間って
何だろう？

学校経営の重点 “世羅中版「学びの変革」アクション・プラン”

研究主題 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な創造・充実(3年次) ～単元内自由進度学習を活かして～

<学習の個性化と協働的な学び>

総合的な学習の時間 『まなびのとびら』

様々な体験から得た生徒の興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じ、生徒一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、生徒自身が学習を最適となるよう調整する「学習の個性化」を図ります。

<指導の個別化と協働的な学び>

各教科における多様な学びの選択肢のある授業

生徒一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材等の柔軟な提供・設定を行う「指導の個別化」を図ります。生徒自身が自らどのように学習を進めることが効果的であるかを学びます。

『まなびスペシャル』

本物(専門家)との出会いで社会を意識し、自らの生き方を見つめる学びを応援します。

- 元バドミントン日本代表 栗原 文音 様
- 日本ろう者劇団 手話狂言「附子」 他

『異文化間協働活動』

多様な国の人々との交流を通し、世界の人々が、国を超えて理解しあい、協力し、世界平和を実現する教育を推進します。

- (連携校) 台湾屏東県立大同高級中學
- ニュージーランド(調整中)

『単元内自由進度学習』

単元開始時に自ら全体の学習計画をたて、プリントやICT等により自立的な個別学習を行います。自らの学びをモニターしながら学習を進めることで、メタ認知や学習を自己調整する力を育成します。

『まなびChallenge』

定期試験期間中の6時限目は、自ら立てた各教科の目標達成に向けて、自分なりの計画と、自分なりの方法で学びを進めます。



生徒の自治活動の充実

生徒会行事や体育大会、まなびの発表会は、生徒が主体となって行事の成功を目指し、多くの生徒と共に感動を味わいながら企画・運営を実践的に学びます。

手帳による生活習慣・学習習慣の確立

生活や学習における目標を設計し、習慣的に見直しをすることにより、努力を成果に結びつけ、結果、自分に自信を持ち、自ら学ぶ力を身につけるよう指導・支援します。

深い生徒理解と実証的事実による適切な学びの指導・支援

日常の観察による深い生徒理解とデータに基づいて教育を分析し、得られた知見を改善に生かしながら指導・支援します。

業務改善・働き方改革の推進

これまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができますようにします。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)

保護者や地域の皆さんとともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることにより、協働しながら生徒の豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進めます。